

飛騨山娘

本調子

合	○	乙	老	上	中	中	王	中	上	老	上	中	王	五	八	六	五
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

工	合	工	○	合	○	乙	老	上	中	中	王	中	上
				わ		た		しゃ	お		く	ひ	だ

老	上	工	中	上	老	上	○	中	上	老	○	上	中	工
や	ま	む	す	め						み		や	こ	

五	五	六	五	王	中	上	工	中	上	老	乙	合	○	合	合
は	な	れ	た	や	ま	ざ	と	の							

五	○	六	工	中	中	王	中	上	老	老	乙	合	乙	老
ふ		か	い	た		に	ま	に	さ		いた	は		

上	○	中	工	中	○	上	工	中	中	上	老
な				ひ		と	に	し	ら	れ	ぬ

老	上	○	中	上	老	乙	合	○	工	合	工	中	○	上
や	ま	つつ			じ									

工	中	中	上	老	老	上	中	王	五	八	六	五	工
最後はゆっくり													

一、私しや 奥飛騨山娘
 都はなれた 山里の
 深い谷間に 咲いた花
 人に知られぬ 山つつじ

二、私しや 奥飛騨山娘
 山の牧場の 月かげに
 ぬれてわびしく 歌えども
 聴いてくれるは 風ばかり

三、私しや 奥飛騨山娘
 吹雪する夜の かなしさは
 暗いランプの 灯の下で
 便り書くにも 手がしみる